

2011年6月19日付

日本海新聞

2011年(平成23年)6月19日 日曜日 (16)

中国高校選手権

「中国高校選手権」は18日、各地で続開。鳥取県勢は、重量挙げ39kg級で多田圭佑(米子工)がトータル153kgを挙げて2位に入った。陸上男子八種競技では牧大智(米子北)が高校県新の5166点で3位に食い込み、女子走り幅跳びの藤井麗(倉吉西)も自己ベストを更新して3位、同3000m以下の前川祐紀(鳥取青英)も自己ベストで4位入賞した。新体操女子個人の佐野々花(鳥取西)は種目別ボールで3位、総合で3位に入り、同男子団体では智頭農林が3位入賞。弓道個人は女子の杉村香苗(鳥取西)が4位に入った。なぎなたの演技では北村由貴子・米原水里子(鳥取西)がベスト8。卓球個人ダブルスでは男子の前本航大・石塚智大(米子高専)ら3組がベスト16入りし、剣道個人でも男子の前田優作(米子松蔭)と高橋駿太(米子松蔭)のベスト16が最高だった。

アーチェリーの団体では県勢各校が決勝トーナメント進出を果たし、個人では女子の清水香須恵・米子南がベスト8。サッカーの米子北と鳥取西はそれぞれ初戦を突破して4強入りし、ボクシングではライト級の口田祥也(境港総合)が決勝進出を果たした。レスリング個人では50kg級の浜本寛(倉吉総合)ら4人が準決勝に進んだ。

牧米子 高校県新3位 男子八種競技

女子走り幅 藤井麗 自己新で3位

(山口・椎新百年記念公園陸上競技場)

【男子】
▽100m(+1.1)
①小畑 幸平(山・西京) 10秒85
▽5000m
①チャールズ・ディランゴ(広・世羅) 13分44秒61
=大会新
②二岡 康平(鳥取青英) 14分56秒82
▽400m障害
①山本 明(広農工大高) 52秒84
▽400mリレー
①広島商美(高松、石田、小泉、北村) 41秒49
▽走り幅跳び
①石橋 健(鳥・大社) 2.5500
①水見 崇裕(境) 1.7494
▽やり投げ
①松谷 昂平(鳥・浜田商) 67.5099
①中村 大輔(岩美) 53.5775
▽八種競技
①佐々木達也(広・沼田) 5449点
=高校中国新、大会新
(100m11秒38+1.3、走り幅跳び6.650+1.3、砲丸投げ11.509、400m50秒71、110m障害15秒44+1.2、やり投げ45.582、走り幅跳び1.783、1500m4分44秒22)
②牧 大智(米子北) 5166点
=高校鳥取県新
(11秒33+2.6、6.677+0.8、9.575、52秒51、15秒38+1.6、40.588、1.777、4分55秒46)

【女子】
▽100m(+2.0)
①青木 益未(同・剣志学園) 11秒93
▽3000m
①スーサン・ワイリム(広・世羅) 9分8秒89
=大会新
①前川 祐紀(鳥取青英) 9分20秒49
▽400m障害
①高橋 祥奈(同・倉敷中央) 1分1秒79
▽400mリレー
①同・倉敷中央(久世、高橋、安井、仁尾) 47秒23
▽走り幅跳び
①森岡 美紅(岡山操山) 5.7288(+1.3)
②藤井 麗(倉吉西) 5.7258(+1.0)
▽円盤投げ
①辛田 あみ(山・徳山商工) 40.5707
②岡田 悠(鳥取城北) 39.578
(記録は1位と8位以上の鳥取県勢。各種目上位8人、八種競技は上位3人と各地区予選4~6位の記録上位5人がインターハイに出場)

陸上

○：悲願のインターハイとして同校にやってき
み取った牧(米子北)は「今まで頑張ってきたことをたくさん思い出しました」と感慨げだ。
牧の本職はスキーマルペン選手。香川県観音寺市からスキーの侍学生として同校にやってきた。夏季のトレーニング
「いけた」と思った女子走り幅跳び・藤井麗(倉吉西)は山口入りしてから体がとても軽くなったので、跳べそうな気がしていた。ベスト記録が6.77mを目標にしたい。



男子八種競技 高校鳥取県記録を塗り替える5166点で3位入賞した牧大智の110m障害。山口・椎新百年記念公園陸上競技場



ろ、八種競技に取り組みたいと願う。どの競技もある程度はできるけど、トップにはなれないと分かった。でも部活をやるからにはやっぱり夏のインターハイも目標にしたかったんです」
以来、めきめきと力を付け大会に出るたびに高校県記録を連発。実力と自信も積み重なった最終学年で、念願の切符を手にした。この競技を選んだことは間違っていないと、藤井は胸を張る。もちろん、夏の東北でも記録更新を狙っていく。

← 2種目目の走り幅跳びが終わってトップにたった。